

かわさきチャレンジ・3R ニュース

「川崎市一般廃棄物処理基本計画」に基づく市の取組や、ごみ減量・リサイクル等に役立つ情報を紹介します。



第18号

平成24年2月発行



川崎市一般廃棄物処理基本計画における行動計画の改定について

現在、川崎市一般廃棄物処理基本計画における行動計画の改定について、川崎市環境審議会において審議が進められています。今後もホームページや3Rニュース、パブリックコメントなどで進捗状況等をお知らせしてまいります。

3R推進講演会を開催しました



多摩生活環境事業所
取組事例紹介



南部生活環境事業所
取組事例紹介



落語「紙屑屋」



れいれいしよばおう
鈴々舎馬桜師匠

3R推進に向けた意識啓発及び環境学習の場として、1月26日（木）に廃棄物減量指導員の皆さんや市民・事業者を対象にした3R推進講演会を川崎市総合福祉センターで開催し、496名の方にご参加をいただきました。

今年度は、平成23年3月から市内全域で実施しているミックスペーパーの分別収集について更なるご理解とご協力をいただくため、「分ければ資源・混ぜればごみ」をテーマに、第一部で住民組織団体や廃棄物減量指導員の皆さんと協働で行っている集積所等での取組事例と分別による減量効果について、第二部で、江戸時代におけるリサイクルの取組事例を断家さんによる落語「紙屑屋」を通して、分別の大切さを紹介しました。

第9期廃棄物減量指導員から第10期廃棄物減量指導員へ

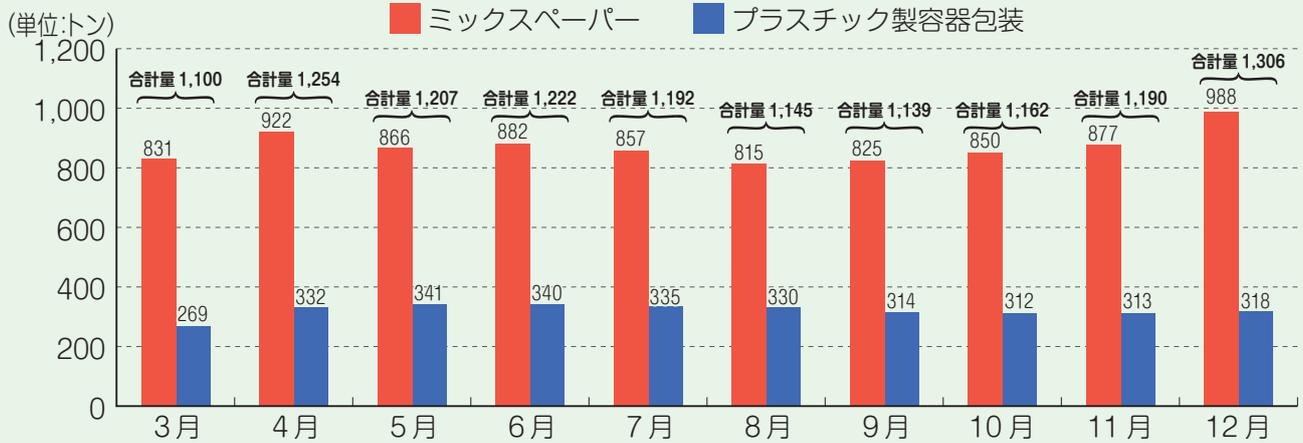
第9期川崎市廃棄物減量指導員の皆さんには、在任中、ミックスペーパー（全市実施）とプラスチック製容器包装（川崎区・幸区・中原区で実施）の分別排出指導をはじめ、ごみ減量・リサイクルの推進にご尽力を賜りありがとうございました。平成24年4月からは第10期が新たにスタートします。住民組織団体からの推薦依頼文は2月中に町内会長・自治会長あてに郵送させていただきますので、引き続きよろしくお願ひします。



【問1】 平成23年4月から12月までのミックスペーパーとプラスチック製容器包装の分別収集実績量は平成23年度計画量に対してどれくらいの割合でしょうか。
 ①約5割 ②約7割 ③約9割 (答えは3ページ下)

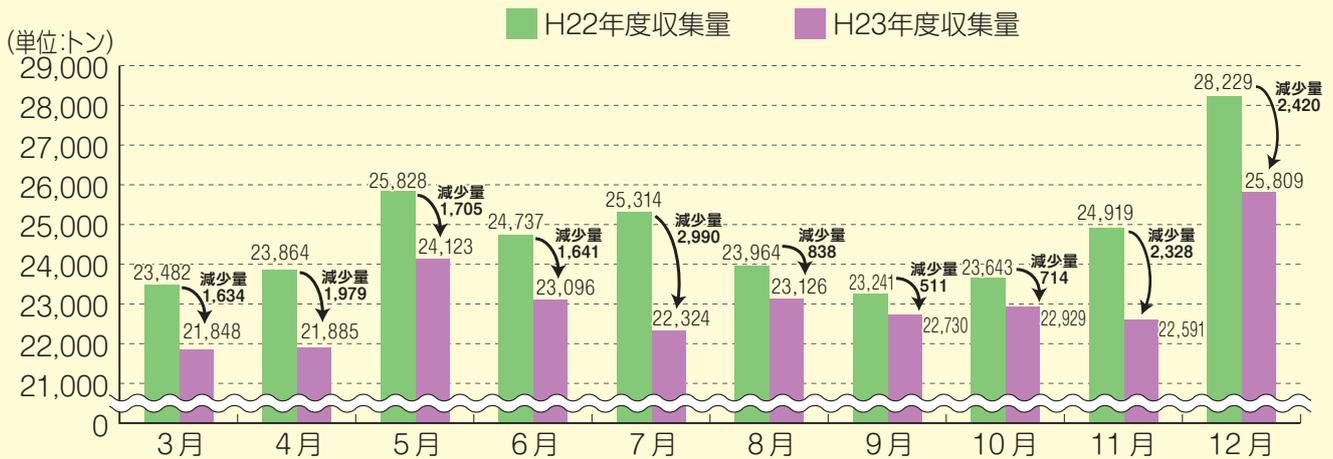
ミックスペーパー(全市で実施)・プラスチック製容器包装(川崎区、幸区、中原区で実施)の分別排出にご協力をお願いします!

ミックスペーパー・プラスチック製容器包装月別収集量(速報値)



※3 Rニュース第17号で掲載した9月分の数値に誤りがありましたので、訂正します。

普通ごみ収集量前年度同月比較(速報値)



分ければ資源
混ぜればごみ

10か月分のミックスペーパー収集量合計……………8,713トン
 10か月分のプラスチック製容器包装収集量合計……………3,204トン
 10か月分の普通ごみ減少量(前年度同月比)合計……………16,760トン



統一排出指導イメージ

ミックスペーパー(全市実施)とプラスチック製容器包装(川崎区・幸区・中原区のみ)の分別収集開始後、一年を経過することから、改めて分別ルールと排出マナーの周知徹底を図るため、3月1日(木)に市内各所で統一排出指導を行います。当日は啓発用ポスターの作製に協力をいただいた川崎フロンターレのマスコット「ふるん太」も一緒に排出指導を行います。ごみの減量・リサイクルの徹底には根気強い取組が必要です。よろしくお願いします。

【問2】コンポスト化容器のコンポストとは、日本語に訳すと次のうちどれでしょうか。

- ①堆肥 ②減量 ③消臭 (答えは4ページ下)

〈ご家庭に「川崎市生ごみリサイクルリーダー」を派遣します。〉

家庭での継続的な生ごみリサイクルを推進するため、生ごみリサイクルの活動を長く経験し知識を有している方を川崎市生ごみリサイクルリーダーとして認定し、相談者の家庭などにリーダーを派遣します。

リーダー派遣等の対象

- コンポスト化容器、密閉容器、電動生ごみ処理機などを使って、生ごみリサイクルに取り組んでいる方で、うまくいなくて困っている方
- 生ごみリサイクルをやってみたいが、取り組み方がわからず困っている方
- 町内会等で住民の方を対象とした生ごみリサイクルに関する講習会などの開催を予定している方

! 派遣は無料です。
※指導に伴う材料費等は
ご負担願います。

対象となるリサイクル手法

電動生ごみ処理機、コンポスト化容器、密閉容器、ダンボールコンポスト、ペラダコンポスト、落ち葉堆肥など



電動生ごみ処理機



生ごみコンポスト化容器



密閉容器



ダンボールコンポスト

〈家庭用生ごみ処理機等購入費助成制度のご案内〉

生ごみは、処理機やコンポスト化容器などを使うと、堆肥としてリサイクルすることができます。市では、家庭用電動生ごみ処理機やコンポスト化容器等の購入費の一部を助成しています。

- 対象機種：電動生ごみ処理機等（1世帯1基まで）
コンポスト化容器・密閉容器（1世帯2基まで）
- 助成金額：購入金額の2分の1（限度額20,000円）
- 申請書取り寄せ方法：住所・氏名・電話番号・「生ごみ処理機等助成希望」と明記し、はがき又はFAXでお送りください。
- 申請方法：申請書類に「領収書の原本」、「設置状況がわかる写真又は配置図」を添えて、次の申込み先まで持参又は郵送してください。



できた堆肥や肥料は、庭や家庭庭園などで利用できます。

※申請書類は、市ホームページからもダウンロードできます。
市ホームページ (<http://www.city.kawasaki.jp/index.html>) から

生ごみ処理機

検索

- 申込み先：〒210-8577 環境局減量推進課まで（住所は書かなくても届きます。）
持参の場合は、川崎市役所第3庁舎15階 減量推進課減量推進係まで

〈「生ごみリサイクル講習会」を開催します。〉

家庭における生ごみのリサイクルを推進するため、低コストで始められるダンボール箱を活用した生ごみリサイクル方法や、出来た堆肥の活用方法等を紹介します。

- 日 時：平成24年3月19日（月）10時～12時
- 会 場：高津区役所 5階 第1・2会議室
- 交 通：JR武蔵溝ノ口駅南口から徒歩4分・東急溝ノ口駅南口から徒歩3分
- 講 師：明治大学 農学部特任教授 藤原 俊六郎 氏
川崎市生ごみリサイクルリーダー
- 申込期間：平成24年3月1日（木）～3月15日（木）
- 申込方法：電話・FAX ※市ホームページからも申し込みできます。

参加費用は無料。
先着100名。



前回の様子

●生ごみリサイクルのお問い合わせ：環境局減量推進課減量推進係 TEL:044(200)2605 FAX:044(200)3923

【問1】の答え ②約7割... 残りの約3割は、普通ごみとして焼却されています。循環型社会と低炭素社会の実現に向けてより一層分別排出にご協力をお願いします。

【問3】 現在リサイクルエコショップに認定されているお店は何店舗でしょうか？
 ①約200店舗 ②約300店舗 ③約400店舗 (答えは2ページ下)

環境に配慮したお店「リサイクルエコショップ」をご利用ください！

市では、ごみの減量やリサイクルの推進に取り組んでいるお店や商店街を「リサイクルエコショップ（商店街）」として認定しています。

リサイクルエコショップには、

- レジ袋の削減に取り組んでいるお店
- 牛乳パックや食品トレイなどの店頭回収をしているお店（スーパー等）
- 日用品の修理や再生をしているお店（布団の打ち直し、洋服リフォーム等）
- 中古品の買取や販売をしているお店（リサイクルショップ、リサイクル自転車の販売店等）



などがあり、ごみの削減に貢献しています。

リサイクルエコショップを利用して、ちょっとエコな取組をしてみませんか。



このマークが目印です

＜認定店の情報については、市ホームページをご覧くださいか、次の担当までお問い合わせください。＞

市ホームページ (<http://www.city.kawasaki.jp/index.html>) から

リサイクルエコショップ

検索



● リサイクルエコショップのお問い合わせ：環境局減量推進課指導係 TEL:044(200)2568 FAX:044(200)3923

出前ごみスクール、ふれあい出張講座のご案内



市では、ごみの減量や分別・リサイクルの大切さを学べる環境教育・環境学習として、主に小学生を対象とした「出前ごみスクール」と町内会、自治会等を対象とした「ふれあい出張講座」を実施しています。

市の分別ルールと排出マナーについて分別ゲーム等を通じて、対象者に沿った内容でご説明いたしますので、ぜひご利用ください。

問い合わせ・申込み先	担当地域	電話番号
南部生活環境事業所	川崎区(※以外の地域)	044(266)5747
川崎生活環境事業所	川崎区(※の地域)、幸区	044(541)2043
中原生活環境事業所	中原区	044(411)9220
宮前生活環境事業所	高津区、宮前区	044(866)9131
多摩生活環境事業所	多摩区、麻生区	044(933)4111

※旭町、池田、砂子、駅前本町、榎町、小川町、貝塚、京町1・2丁目、境町、下並木、新川通、鈴木町、堤根、日進町、東田町、富士見、堀之内町、本町、港町、南町、宮前町、宮本町、元木

編集後記

楽をして英語を話せるようになりたくて、最近、“聴くだけで英語を話せるようになるCD”を聴いています。聴くだけで本当に話せるようになるのでしょうか。結果が楽しみです。(K)

- 編集・発行
- 〒210-8577 (住所はなくても届きます)
- 川崎環境局減量推進課普及広報係
- 電話：044(200)2580 FAX：044(200)3923
- 電子メール：30genryo@city.kawasaki.jp